

# 九州がんセンター外来タイムス 9月号

No.3

国立病院機構九州がんセンター

平成27年9月1日発行

(2ヶ月に一度発行します。)

## 九州がんセンター外来タイムスについて

・当院では、広報活動のひとつとして外来などに来院された患者さん、ご家族の皆様に広く当院の情報や医療の情報などについてお知らせするため、本誌を発刊いたしております。

お気軽にお取りいただき、御拝読いただければと考えております。



## 当院のお食事をご紹介します！

当院では入院された方それぞれの病態に合わせた食事として一般食、治療食を含め1回におよそ340食をお届けしています。今回は、当院の副作用対応食「化療食」「あすなる食」をご紹介します。

がん治療によって食べられない方の症状として、「食欲がない」「食事の臭いが鼻につく」「吐気がする」「ちょっとだけしか入らない」「器のにおいが鼻につく」などさまざまです。

「化療食」は、食欲が低下した際に好まれる口当たりのさっぱりしたものや喉越しの良いもの、冷たいもの、また味付けがはっきりしているものなどに考慮したお食事です。主食では味ご飯やちらしずし、おかずでは煮物より焼き物が好まれます。患者さんから「果物や生野菜・酢の物メニューを多く取り入れて欲しい」とのご意見はととも多く、毎食果物をお付けしています。さらに食器の臭いが気になる方もおられ一部陶器を使用しています。

「あすなる食」は、食欲がなく少量しか食べられない方、盛り付け量が多いと食事が負担になる方のために「化療食」を半量盛付にしたお食事です。



化療食メニューの一例



お誕生日には

お祝いカードと紅茶・キャンディーを添え

栄養管理室スタッフ一同、患者さんに喜んでいただけるお食事の提供に努め、治療のお手伝いができればと思っています

～治療の副作用等でお食事にお困まりの方は管理栄養士にお気軽にご相談ください～



## 中秋の名月について

今回は中秋の名月について述べさせていただきます。

中秋（旧暦8月）にお月見を行うのは何故でしょうか。一節によりますと、夏の作物の収穫も殆ど終わり、稲刈りをするまでの手が空く時期に、稲の豊作を祈り祭りを行った事が起源とされています。また、稲の豊作祈願ではなくもともとは芋類の収穫祭、畑作儀礼だったと考えられてもいます。中国からの渡來說も有力です。古来中国では「望月（月を見る催し）」という行事があり、それが遣唐使によって伝えられたものが日本に広がっていったという説もあります。

日本で一番最初の「お月見」は909年、今から1116年も前に醍醐天皇が月見の宴を開いたといわれています。

ところで、名字が「八月十五日」と書いてなんと読みますか。

「なかあき」さんとお呼びするそうです。中秋ということから来ているようです。



## 頭の体操コーナー

- ここからは頭の体操を行うコーナーです、是非参加してみてください。

（初級編）

- 1、かけたり、たったり、つぶしたりするものは何ですか？
- 2、黒い犬と白い犬がいます、おとなしく全く吠えない犬はどちらですか？

（中級編）

- 1、1日には2回、1年には1回しかないものとは何？
- 2、知らんぷりして食べるパンは何？
- 3、9つの色があるという食事はさて、それは何？

- 初級編、中級編と回答できましたでしょうか。

回答は本誌の下の方にありますのでご覧ください。

本誌では、皆さんからの俳句や川柳などもご紹介したいと考えておりますので、遠慮なくご投稿ください。投稿方法については、当院の外来師長にご提出いただければ幸いです。

皆様方のご投稿をお待ちしております。

解答（初級編1 時間、初級編2 黒犬（黙す）、中級編1 ち、中級編2 むしパン、中級編3 給食）